

抄録：臨床医が研究に関心を持ってもらうためには、まず論文などのエビデンスに定期的に触れる習慣を身に付けてもらうことが不可欠です。そして研究に関心を持つ方々の中には、エビデンスを読み解き診療に活かす方法を後輩に教える役割を担う方もいらっしゃるかと存じます。しかし、これらの活動を継続して組織に根付かせることは簡単ではなく、「抄読会を任せられたけれど参加者が来ない」「論文を読むのはハードルが高い」という現場の声に困ることもしばしばです。本セミナーでは、研修病院で EBM 教育を実践する指導医陣が好事例を共有し、明日から実践できるアプローチをご紹介します。各事例を共有した後はフロアからのご質問や、診療現場でエビデンスの活用や EBM 教育への悩みをパネリスト間でディスカッションします。「役に立つエビデンスをもっと現場で活用してほしい！」「研究に関心を持つ臨床医をもっと増やしたい！」という方はぜひご参加ください。